

令和3年度第2回自立支援協議会地域生活支援部会 議事要旨

1. 開催日時 令和3年10月26日(火)午後1時30分～午後3時30分
2. 開催場所 市役所4階 会議室S2・3(オンラインと併用)
3. 出席者 (委員)*団体名のみ記載
(福) 佑啓会、(福) 敬心福祉会、千葉商科大学、いちょうの会
浦安市視覚障害者の会トパズクラブ、浦安市肢体不自由児・者親の会「どっこらしょ」
浦安市自閉症協会、浦安手をつなぐ親の会、(福) サンワーク、(福) なゆた
(福) パーソナル・アシスタンスとも、(福) 南台五光福祉協会、(特非) あいらんど
(特非) 千楽 chi-raku、タムス浦安病院、浦安商工会議所、(福) 一路会(障害者グループホーム等支援ワーカー)、民生委員児童委員協議会、浦安市社会福祉協議会
(事務局) 障がい事業課、障がい福祉課

4. 議事次第

1. 開会
2. 議題
(1) 第2回自立支援協議会の報告について
(2) 第1回地域生活支援部会の振り返りについて
(3) 暮らしに関わる実態把握について
(4) 地域との関わり方について(非公開)
3. 閉会

5. 配布資料

- 議題(1)資料 第2回浦安市自立支援協議会(令和3年10月7日(木)) 報告
議題(3)資料 障がいのある方の住まいに関する調査案
議題(4)資料 自分で作る安心防災帳～障害者の災害対策チェックキット～

6. 議事概要

- (1) 第2回自立支援協議会の報告について

■説明(リーダー・サブリーダー・事務局)

10/7(木)開催の第2回自立支援協議会の内容について、事務局より報告を行った。

■主な意見(リーダー:リ、委員:委、事務局:事)

地域生活支援部会の報告に対する協議会での意見について

委:意見の中で、避難訓練、個別避難計画、自治会の方とキーワードがあると思う。他の自治体では、所管の部署が別々になっているが、浦安市の場合どうなのか。

事:それぞれ別の部署が担当している。

委:災害はいつ起こるかわからない。少しでも早く進めていくために、この場にオブザーバー

で他の課と議論をするぐらいのことをしないといけない。会議に、他部署の方は参加はすることはできるか。

事：他の課と議論は可能。議論の集約は検討する必要がある。

委：障がい者施設が避難訓練を計画した時に、使用する福祉用具の手配、個別避難計画の作成など別の部署の担当ということで、全く進まなかったが、連絡をとり、色々な部署の方が集まることで、避難訓練を実施できた事例がある。

課題の抽出と、具体的にできること、モデルとなるところを決めて、そこに関わる他部署の方に参加いただきながら、モデル事例を実施できればよいのではないか。

リ：この問題は、福祉側だけで議論していても、全く先に進まないという認識はある。まず実態を共通認識して、関係部署や委員の皆さんと進めていきたい。

(2) 第1回地域生活支援部会の振り返りについて

■説明（リーダー・事務局）

リーダーより前回の振り返りが行われた。

■主な意見（リーダー：リ、委員：委、事務局：事）

特になし

(3) 暮らしに関わる実態把握について

■説明（リーダー）

第1回部会で障がいのある方の住まいに関する意見が多く出たことを受けて、浦安の暮らしに関わる実態把握調査を行うこととした。事前に送付した調査票案をたたき台として、委員それぞれの立場から意見が述べられた。

■主な意見（リーダー：リ、委員：委、事務局：事）

委：アンケート対象者数は何人くらいか。

事：通過型グループホーム（以下、「GH」という。）入居者は17人、現在のGH入居者は約70人、GH待機者は50人弱の方を対象としている。個人を特定できないように考えたい。

委：外部サービス利用の有無とは何か。

リ：GHでは、原則、世話人が支援をする。重度の方の場合、法律の経過措置ではあるが、外部の居宅介護等を利用することが認められているものである。

委：アンケートを記入するのが本人であれば、ルビを振り、分かりやすくした方がよい。食事やお風呂などの満足度、満足していない場合は何が困っているのかを具体的に聞いてほしい。

選択肢により、次の設問が選びやすいようにしてほしい。事業所アンケートでは、何がミスマッチなのかを聞いてほしい。

委：他市で、役所が個人情報管理することになっていたことから公にできず、GH待機者

リストが何年も活用されていなかった事例があった。

そこで、今年実施したアンケートでは、計画相談等の事業所とも共有することの許可をもらった。その方の実態、ご家庭の様子をヒアリングして、入りたくても入れない方を特定し、GHにも連れていくなどして、情報をオープンにすることで、進むことができた。アンケートでもそのように、各機関で情報を共有できるようにすると良い。また、相談員の事業所名、担当者名を記載してもらったほうがよい。

委：満足度は入れたほうがよい。GH入居者には、入居を決めた理由、現在、世話人さん、支援員さんにどのような支援をしてもらっているのか聞いてはどうか。入居希望者向けには、市内に空きがあるとは思いますが、空きはあるが入居していない理由、GHで希望する支援内容を聞くと具体的になっていくのではないか。

サ：いいえの理由を聞いていくのが大切だと思う。うまくいっていない所を集めるのが大事ではないか。

リ：アンケートについて意見があれば、事務局にお知らせいただきたい。

(4) 地域との関わり方について（非公開）

■説明（事務局）

各所属（団体・事業所・個人）における、地域の方（自治会や近隣住民の方）との関わり方で、工夫している点や課題などについて、グループワークを行い、各グループから議論した内容を共有した。

自立支援協議会（本会）で紹介された、『自分でつくる安心防災帳～災害対策チェックキット～』を参考資料として配布した。

■主な意見（リーダー：リ、委員：委、事務局：事）

委：当事者から自治会の方や近所の方と連携したいと言いつらい。自治会の方が認識してもらえるような働きかけ、周知、啓発が必要ではないか。

委：難しいケアが必要な方の福祉避難所までの支援をどのようにするか。

委：避難所の役割など事前に確認準備が必要。